

PASPY終了から考える 持続可能な交通のために

「他人事」から情報公開・対話・市民参画で「自分事」へ

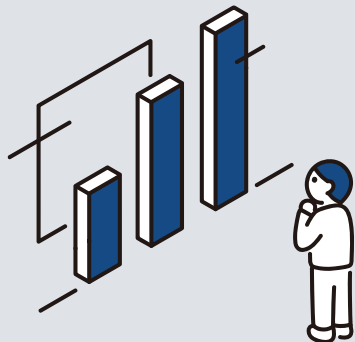
呉高専鉄道の未来を考えるインキュベーションワーク | 呉工業高等専門学校 | 佐々木慎介

Executive Summary

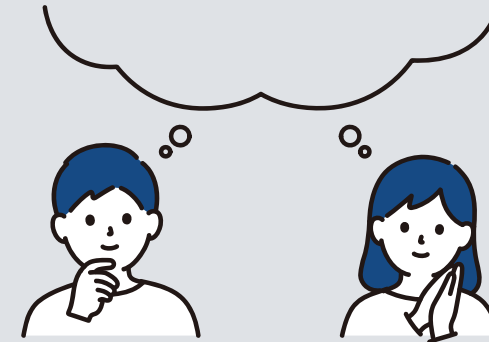
私たちが主体的にまちづくりできる環境構築

「他人事」から情報公開・対話・市民参画で「自分事」の交通まちづくりへの変革が求められている。

情報公開



対話



市民参画



「他人事」から「自分事」へ

目次

0. 導入	p.4~
1. PASPY終了	p.9~
2. 問題点	p.13~
3. 持続可能な交通のために	p.17~
4. 結び	p.24
Appendix	p.23~

0. 導入

バス 競争から協調へ転換する広島

広島市内のバス事業者8社と広島市は「競争から協調へ」を掲げ、共同運営システムを立ち上げた。



0. 導入

駅前大橋ルート開業に沸く広島

新しい広島駅ビル「minamoa」の2階に乗り入れる路面電車は全国ニュースにも取り上げられた。





0. 導入

駅前大橋ルート開業に沸く広島

新しい広島駅ビル「minamoa」の2階に乗り入れる路面電車は全国ニュースにも取り上げられた。



0. 導入

PASPY終了で混乱した広島

▼PASPY終了を解説するニュース動画

RCC | 2025/3/18

9.0万回再生

ICOCAなのに整理券が必要?
<https://www.youtube.com/watch?v=qTF3GBG0UJ8>



RCC | 2025/1/29

8.5万回再生

同じ区間でも割引有無に差が...
<https://www.youtube.com/watch?v=LRh1eK9c-J8>



HOME | 2025/2/10

2.4万回再生

"ポストPASPY"何使う?
<https://www.youtube.com/watch?v=q6eEUF93sxE>



RCC | 2025/3/3

1.9万回再生

切り替えや払い戻しで混雑
<https://www.youtube.com/watch?v=EhO26sbtY4o>



1. PASPY終了

PASPY終了とは何だったのか



PASPY

サービス終了のご案内

平素より広島県交通系ICカードPASPYをご利用いただき、誠にありがとうございます。

このたび**PASPYはサービスを終了**することになりました。

長年のご愛顧に心よりお礼申し上げます。

何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。



アストラムラインサービス終了日

2024年**11月30日(土)**

バス事業者・広島電鉄電車サービス終了日

2025年**3月29日(土)**

※一部のバス事業者やその他のPASPYが利用可能な事業者については、上記より早い時期にサービス終了することもございます。

手数料なしでの
払い戻し開始日

2024年**6月1日(土)**

払い戻し最終日

2027年**3月31日(水)**

※上記期間においても、定期券のみの払い戻しの場合は手数料がかかります。

定期券の取り扱い・PASPYの払い戻し対応については、PASPY公式WEBサイトをご確認ください。



PASPY運営協議会

1. PASPY終了 | PASPYのこれまで

協調して導入され発展を続けたPASPY

事業者が協調して共通ICカードが実現した

- '04 県バス協会で共通ICカード導入決定
- '05 広島都市圏における交通系共通ICカード導入促進検討会
- '07 PASPY運営協議会設立
- '08 PASPYサービス開始
- '18 共通定期・直通乗継割など事業者を越えたサービス拡充



1. PASPY終了 | PASPYのない広島

ICOCAとMOBIRY DAYS どっち使えばいいん？

ICOCAとMOBIRY DAYSに分かれた乗車券システム。利用者が感じたのは「PASPYのままでえかったじゃん」だった。



1. PASPY終了 | MOBIRY DAYS

謎のシステムモビリーデイズ?

広島電鉄が新しく開発した乗車券システム「MOBIRY DAYS」。前例のないシステムで「よーわからん」と多くの人が思った。

動画時間 6:27



動画時間 6:54



RCC | 「モビリーデイズ」本格運用スタート(後略) | <https://www.youtube.com/watch?v=LIWgfkDwgSI>

広テレ | 広島でパスピーに代わる乗車券システム「モビリーデイズ」あすから利用開始(後略) | <https://www.youtube.com/watch?v=ZxbzG1eRFP8>

2. 問題点

分かりにくくなった原因は何なのか



2. 問題点

利用者目線

利用者不在の議論・決定

The diagram consists of two large, overlapping arrow shapes pointing towards each other. The left arrow is light gray and contains the text '事業者' and 'の考える最善策'. The right arrow is black and contains the text '利用者' and 'にとっての利便性'.

事業者
の考える最善策

利用者
にとっての利便性

2. 問題点

お互いにお互いが分からない

事業者と利用者とのコミュニケーションが足りていないのではないか

利用者
の利便性とは？

事業者
の考えとは？

2. 問題点

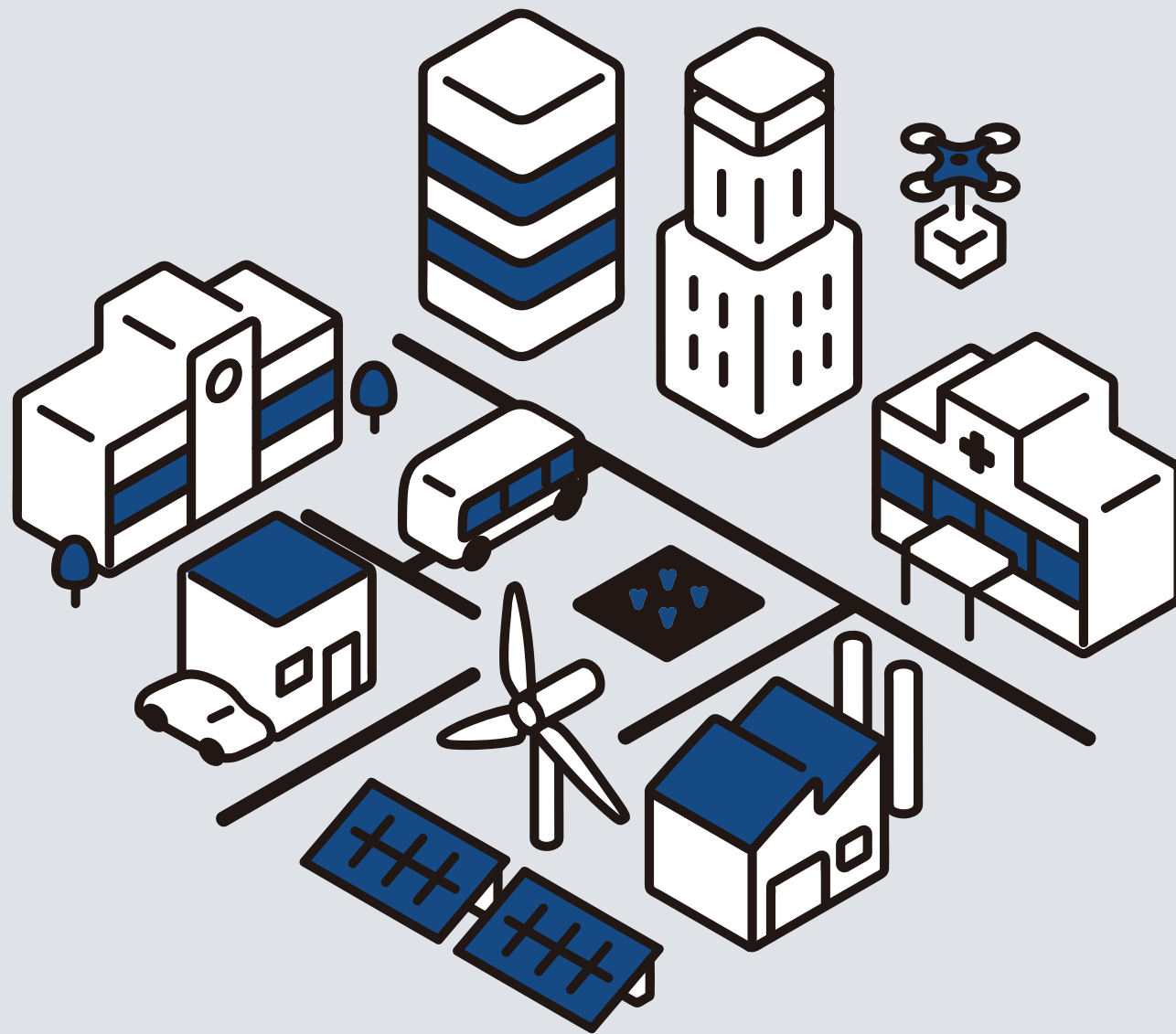
問題点

利用者・市民の声が事業者・自治体に届かない構造的な問題があるのではないか。

利用者・市民の声が届かない

事業者の考えが分からない

3. 持続可能な交通のために



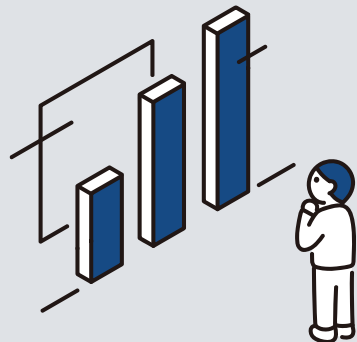
3. 持続可能な交通のために

私たちが主体的にまちづくりできる環境構築

知らない間に決まっていたあの計画。計画の存在すら知らないお父さん。声を持たない人が声をあげられる環境構築。

情報公開

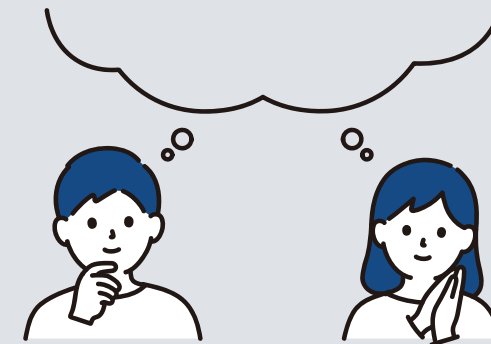
現状をデータで知る



対話

市民の意見集約

市民同士の意見交換



市民参画

市民 × 自治体 × 事業者



「他人事」から「自分事」へ

3. 持続可能な交通のために

情報公開

今何が起きているのか、誰でもすぐに分かるまち。透明性の向上で、市民の理解と納得感を醸成する。

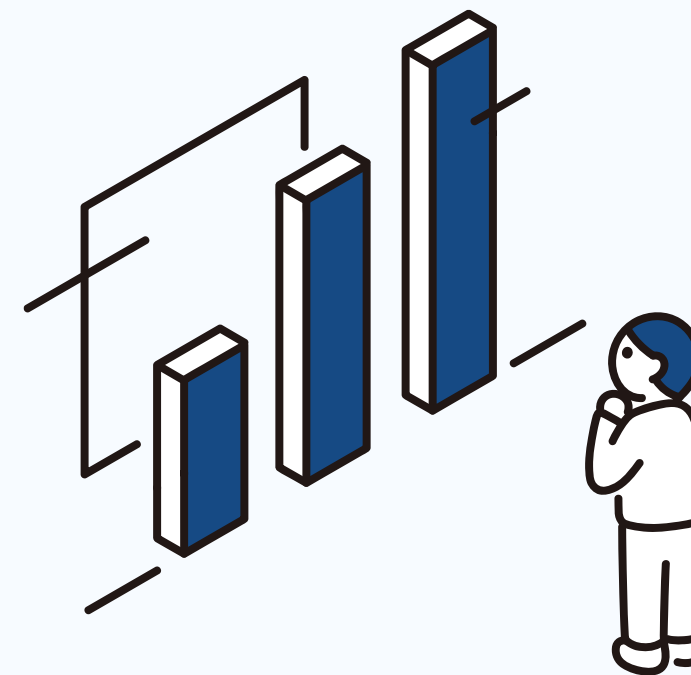
事業者

- 輸送人員・収支状況
- 運転手の満足度

自治体

- 利用者アンケート
- 交通協議会・議会資料
- 都市計画・交通計画

迅速な公開



3. 持続可能な交通のために

対話

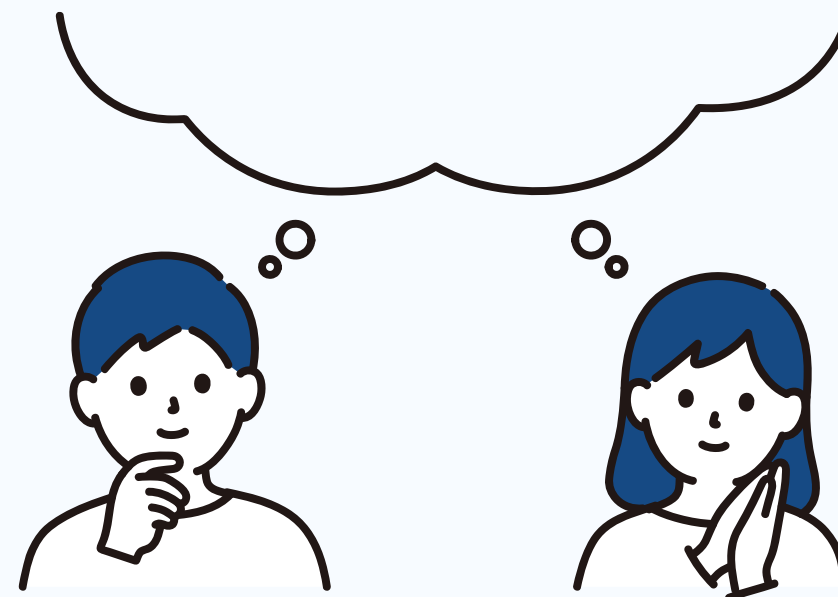
自分が関わっている「実感」を市民が感じられるまち。「わたしはどう思う」のかをひとりひとりが考える。

自治体・事業者

- 市民対話の場の確保
- 市民の疑問への回答

市民

- 疑問の解消
- 自らの考えの共有・深化
- 多様な視点・知見を知る



3. 持続可能な交通のために

市民参画

自分が関わっている「実感」を形にできるまち。市民自らが計画づくりに関わることで「自分事」の輪を広げる。

自治体

- 議題の設定
- 基本の方針の制定

市民

- 議題に対しての提案・計画立案
- 実行された計画の評価

事業者

- 計画の実行



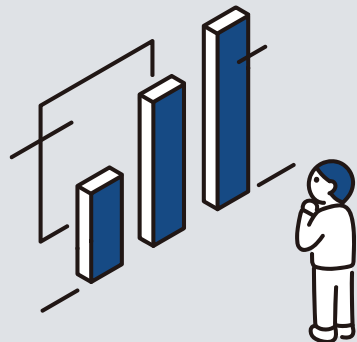
4. 結び

私たちが主体的にまちづくりできる環境構築

知らない間に決まっていたあの計画。計画の存在すら知らないお父さん。声を持たない人が声をあげられる環境構築。

情報公開

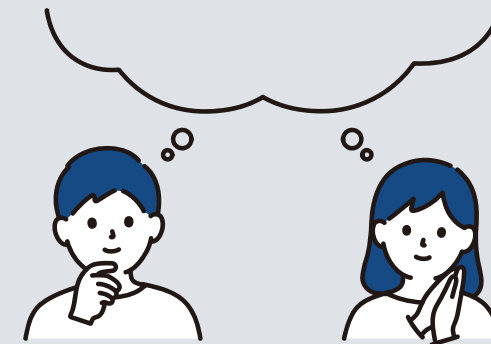
現状をデータで知る



対話

市民の意見集約

市民同士の意見交換



市民参画

市民 × 自治体 × 事業者
「自分事」の交通まちづくり



「他人事」から「自分事」へ

Appendix

MOBIRY DAYS開発

- 2016? 自治体・交通事業者・地域の有識者と決済方法について勉強会
- 2020 バス協会 MOBIRY DAYSの開発の表明と導入を呼びかけ
- 2021 初めて MOBIRY DAYS構想の存在・PASPY存続の危機が新聞報道
- 2022 MOBIRY DAYSの開発着手
MOBIRY DAYSへアストラムの不参加が公表
- 2023 MOBIRY DAYSの名称とサービス概要などが公表
呉市生活バスに MOBIRY DAYS導入の方針が市議会で報告される
- 2024/2 阿戸線で MOBIRY DAYSを用いた社会実験が行われる
- /3 MOBIRY DAYS整備費補助を含む広島市当初予算が成立
- /4 広島市議会議員へ MOBIRY DAYS説明会を含めた行事が行われる
- /6 MOBIRY DAYSに関する話題を含む講演会が開かれる
- /7 広島都市圏バス会社、広島市補助金により MOBIRY DAYS導入発表 ただし時期未定
iOS向けアプリの配信延期が発表

MOBIRY DAYS開発

- 2024 /7 県北地域で先行導入される
- /8 延期されていたiOSアプリが配信、一部個人情報登録の任意化
- /9 広島市内中心部を含むエリアでサービス開始
- /11 MOBIRY DAYS車載器によるICOCA対応について新聞報道がされる

- 2025/1 北海道北見バスでの導入発表 県外で初
- /2 バス金額式定期券の発売開始
PASPY終了後の広島シティパス定期券取扱い方法が発表
広電グループ以外のMOBIRY DAYS対応について公表
- /3 PASPYサービス終了
MOBIRY DAYS単独での運用開始
- /4 電車単車での全扉乗降・車内現金チャージ対応などのプレスリリース
- /5 MOBIRY DAYS車載器でのICOCA対応についてのプレスリリース
- /8 車内現金チャージ対応開始 広島バスなどは車載器の仕様上対応できないとされる
- /11 一部終点バス停での中扉降車開始

- 2026 /3 窓口でのチャージ方法が簡略化される

資料 2

バス事業分科会について

(検討状況報告)

R6.9.25

分科会概要①(令和6年3月法定協議会にて設置済)

■ 分科会の主な役割・所管事項

- ・ まちづくりの観点からのサービス水準の検討
- ・ 運行計画(共同、共創のもの)の承認
(PFからの提案事項等を客観的な立場で審査)
- ・ 運行状況・取組状況等の評価(PFから報告を受けた取組状況等について評価し、必要に応じて意見を述べる)

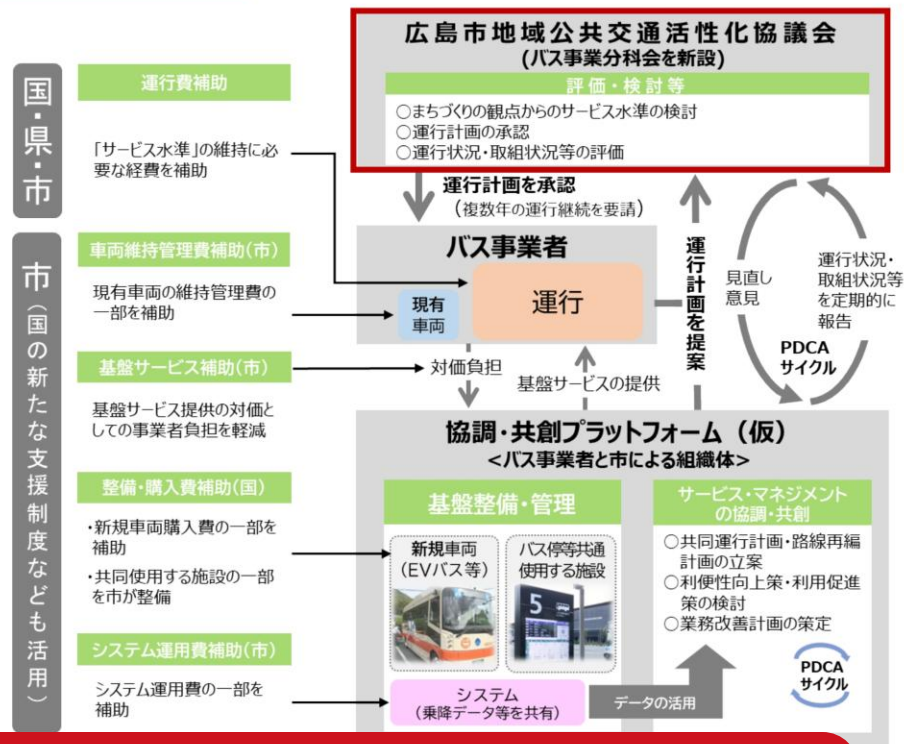
■ 分科会決定事項の取扱い

分科会議決事項は法定協に報告する。ただし、下記のような事項は、法定協議会においても審議を行う。(個別の案件ごとに判断)

- ・ 利用者への影響が大きい路線の再編計画
- ・ 地域公共交通計画や利便増進実施計画への影響を与える事項
- ・ 協議会の合意形成が必要とされている法定事項

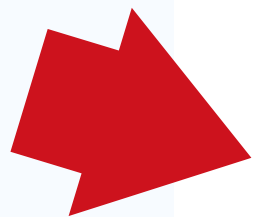
PFで企画立案する「共創の取組(バス事業再構築)」に関するものを対象として、承認・議論等を行う場です。バス事業者各社で展開している全ての路線のダイヤ等を扱うものではありません。

➔ この分科会は、バス事業再構築の取組を効果的なものにするため、単なる“承認機関”ではなく、利用者の声や学識経験者等の立場からの客観的な意見を反映させることができるよう、「議論」もしていただく機関にしたいと考えています。



分科会概要②(委員構成)

構成員	該当する団体	委員候補	
学識経験者	大学等	教授等	広島工業大学 伊藤教授 【分科会長】
利用者代表	広島市社会福祉協議会 広島消費者協会	(左記団体の) 会長等	永野会長 栗原会長
公共交通事業者	バス事業者	プラットフォーム代表 (複数社) 又は広島県バス協会	プラットフォーム 事業者輪番 (1名想定)
地方公共団体	広島市	道路交通局 公共交通政策部	公共交通政策部長
その他 必要と認める者	国土交通省	中国運輸局 交通政策部	交通企画課長



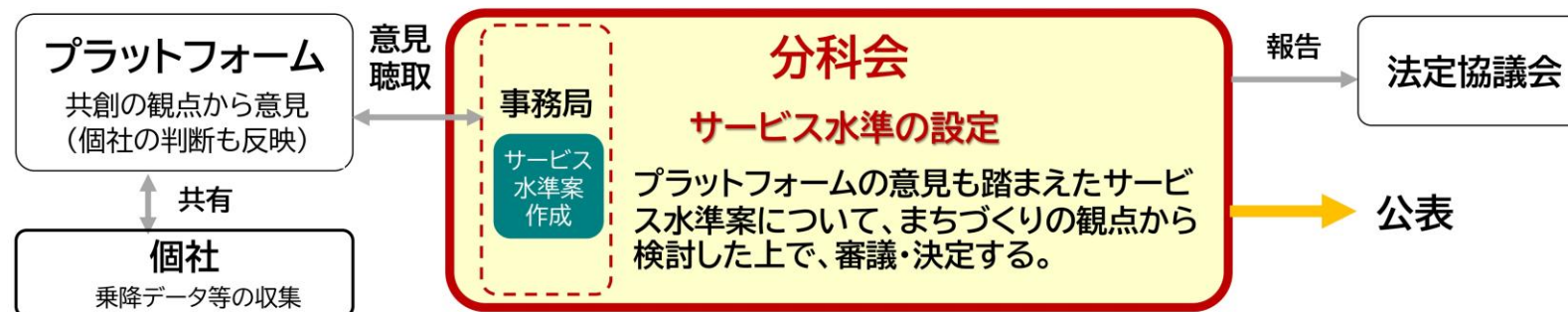
※ 必要がある場合は、委員以外の者が出席することも可としている(要綱規程)

参考) 「事業者輪番」は、ローテーションのほか、分科会の議題に応じて順番を入れ替える、柔軟に運用します。なお、議題に関係事業者が複数ある場合には主たる事業者が代表として参加する場合や、事務局(説明者・答弁者の役割)として出席する場合があります。 ※事業者には「バス協会」も含まれます。

3

分科会の運用(フロー)②

① サービス水準の設定(基本的な考え方を定める) 例:この路線は、1時間に●本、など



〈サービス水準とは〉

持続可能で使いやすい乗合バスサービスを実現するため、まちづくりとの連携や利用者ニーズ等の様々な観点を踏まえ、「運行ルートと運行頻度」、「交通結節点の乗継環境」について、設定するものです。

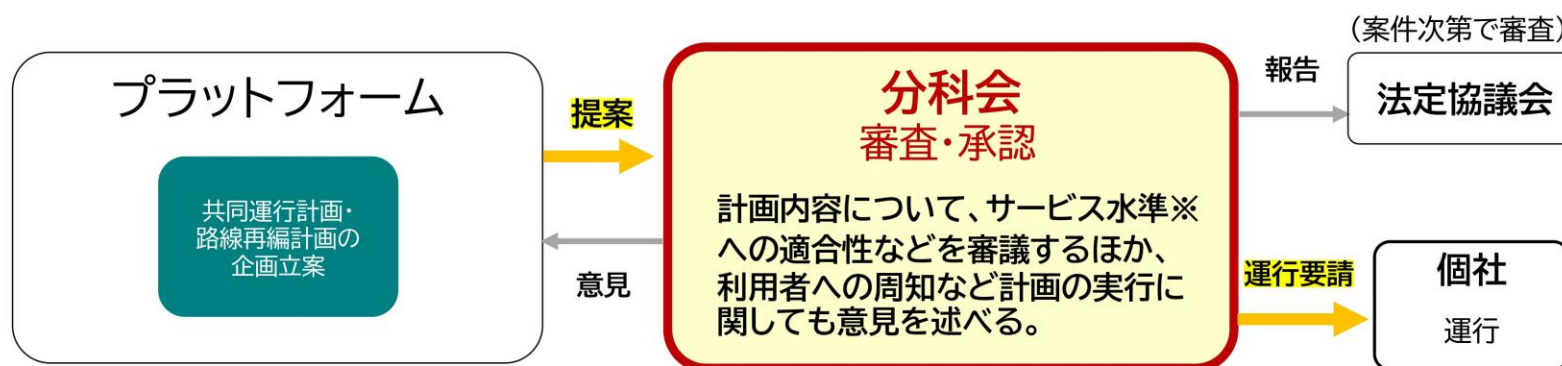
〈サービス水準の目安〉

都心部、デルタ市街地、デルタ周辺部、中山間地域といった「エリア」や、都心部と拠点地区などを結ぶ「路線」に着目し、現在提供している運行頻度を踏まえつつオフピーク時に最低限確保すべき水準として事業者と議論してきたところです。

分科会の運用(フロー)③

②運行計画の承認

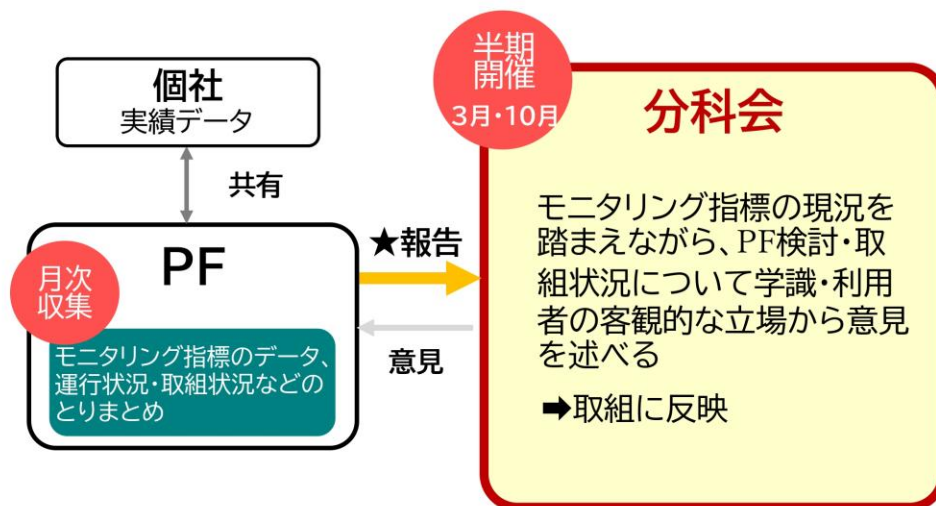
対象路線の詳細なサービス水準(ルートとダイヤ等)



※ サービス水準:「運行ルートと運行頻度」、「交通結節点の乗継環境(待ち時間、待合環境等)」

分科会の運用(フロー)②

③運行状況・取組状況等の評価(PDCAサイクル)



報告事項

①モニタリング指標の現況報告(一例)

- ・ 輸送人員と収支状況(8社合計のほか、中山間地・都心部等のエリア別、交通モード別などテーマを設定して抽出)
- ・ 利用者の声
- ・ 運転手の満足度
- ・ ⋮

②取組・検討状況報告

- ・ 路線最適化や運賃サービス等の共創の取組案など
- ・ 前回から今回までの間のバス業界の動向(ダイヤ改正や増便・減便などのトピックや概況を報告)
- ・ 再編した路線の利用状況、再編の効果など

6

Appendix | 市民参画の枠組み

最短4分で学べる！
ひろしまLMO
動画

この動画を見て、LMOの理解を深めて地域の活動に参加してみよう！

動画ナビゲーター エルちゃん

「ひろしまLMO」はおおむね小学校区を活動範囲として、地域団体やNPO、協同労働団体、企業、商工会、住民有志など多様な主体が連携しながら地域課題の解決に取り組む団体です。

あなたの地域のLMOの設立・活動状況はこちら

① LMOを簡単に知りたい方 4分
LMOのイメージムービーです

② LMOの事例を知りたい方 12分
特色のある5地域の活動を紹介します

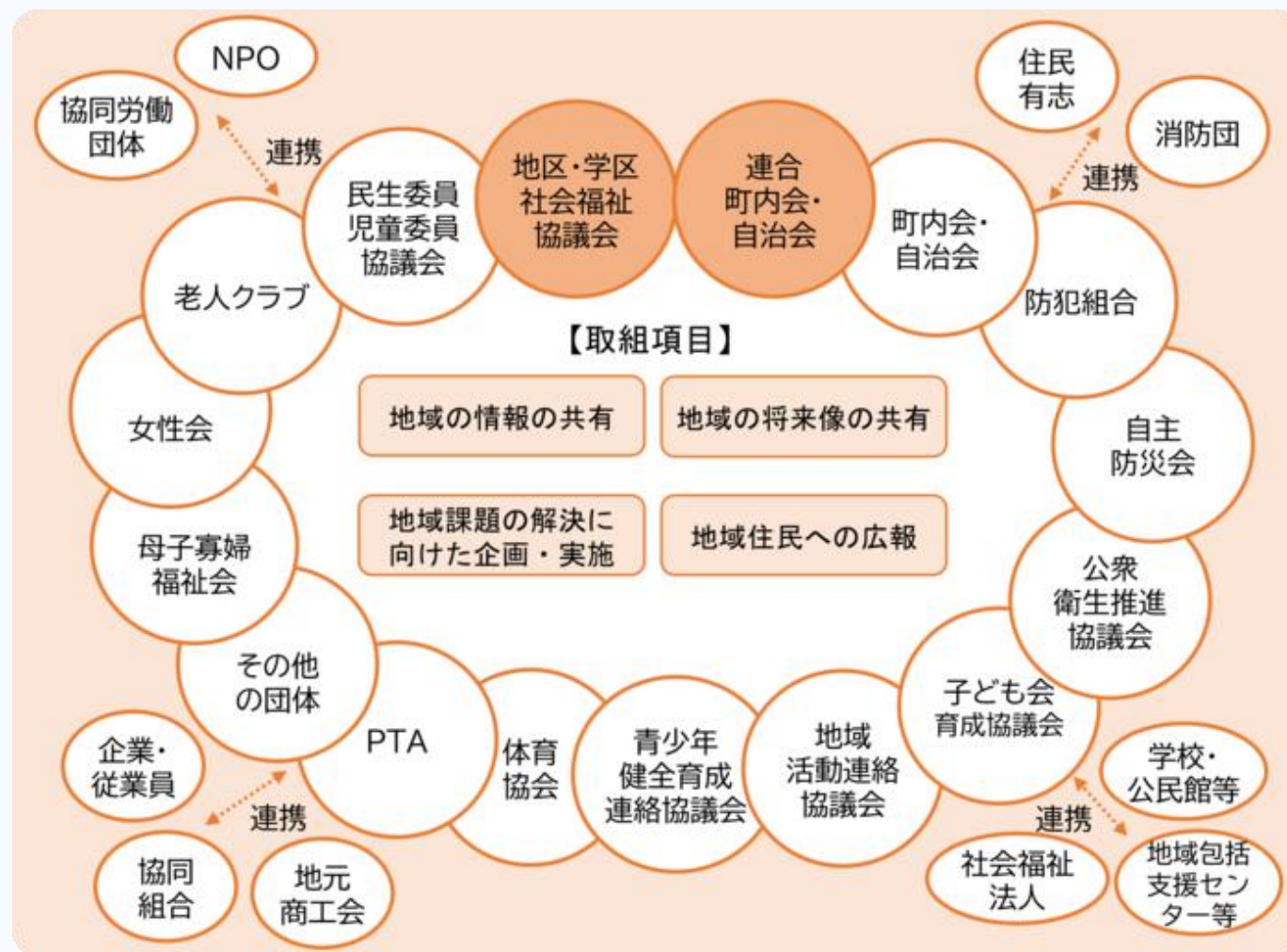
③ LMOを詳しく知りたい方 22分
LMO設立に向けての事務の流れやLMOへの支援内容等を紹介しします

みんなで作ろう、地域の未来！

問合せ先
広島市企画総務局コミュニティ再生課
Tel :082-504-2867
Mail:community@city.hiroshima.lg.jp

LMOの詳細は市HPで

ひろしまLMO



※ 構成・連携するメンバーは地域の実情に応じて決定

Appendix | 市民参画の枠組み

2 ひろしま市民と市政

topics トピックス

地域主体で取り組む乗合タクシーを支援

市は、郊外の住宅団地や中山間地域などの公共交通サービスが十分に行き届いていない交通空白地域において、地域が主体となって導入・運行する乗合タクシーなどに対する支援を行っています。
 図公共交通政策部(☎504-2384、☎504-2426)

地域主体の乗合タクシー

交通空白地域において、地域内の病院やスーパー、最寄りの駅やバス停までの移動手段を確保するため、地域が主体となって運行する乗合タクシー。現在、市内の7地区で本格運行しており、新たに1地区で実験運行を開始しました。

運行計画の策定や 収支不足の一部補助などの支援

市は、地域住民の移動ニーズを把握するためのアンケート調査や運行計画の策定のサポート、運行によ

て生じる収支不足への一部補助などの支援を行っています。

導入の検討段階からサポート

地域からの相談に応じて市職員が、地域の集会などの場で乗合タクシーについての説明を行っています。地域で安心して生活し続けられるよう、住民の皆さんで交通について考えてみませんか。

現在運行している取り組み事例など詳細は、市ホームページで。

市HP ページ番号 1016992



地域主体による乗合タクシーの導入手順

まずは、地域で導入の検討を行い、市にご相談ください。

地域の取り組み	市の支援
導入の検討、住民アンケートの実施	ノウハウなどの提供
地域協議会の設立、運行計画の策定	運行計画の策定、各種申請手続きなどのサポート
実験運行(最長1年間)	収支不足の全額補助、利用状況の分析など
本格運行	収支不足の3/4を国と併せて補助

レポート

安心して免許を返納できるように -山倉ふれあいバス(愛称)-

令和7年11月に実験運行がスタートした山倉地区(安佐北区)。令和5年6月から乗合タクシー推進協議会を立ち上げ、準備を行ってきました。



同協議会で副会長を務める橋 裕治さん(左写真・88)は「免許返納などで交通手段がないという話は以前からあったんです。話が先に進んだのは、市の支援制度を知ったことがきっかけでした」と話します。

生活習慣を変えていく努力も必要

「住民のアンケートや勉強会などを重ね、ようやく実験運行が始まりましたが、ゴールではないんです」と話すのは、事務局長の大塚繁夫さん(右写真・76)。「アンケートではバスがあった方がよいという回答が多く、息子・娘にも免許を返納するよう言われるという声を聞きます。けれど、バスの利用には結びついていないんです。通院や買い物バスが運行する曜日に合わせるよう生活習慣を変えていくまで、半年くらいかかるかな」と話します。

“地域主体”だからこそその利便性

この日、起終点停留所となっている商業施設で買い物を終えバスを待っていた利用者は4人。皆さん、免許を返納したの



で助かっていると話します。初めて利用したという高澤洋子さん(下写真・77)は、「郵便局で用事があり、買い物もできました。時間がちょうど良く設定されているので、往復で利用しやすいですし、送迎を人に頼らずに済むところが良いですね」と笑顔を見せます。



乗り込みやすさや買い物の荷物を考慮し、高さ通路スペースに余裕がある車両を使用

先を見据えた仕組みづくりを

本格運行までに「どうやって資金を確保するか、自立した仕組み作りが課題です」と口をそろえる橋さんと大塚さん。「田畑で作ったお米や野菜、庭にできた柿などをバザーで販売するなど、みんなで知恵や労力を出し合っています」「自分たちの後を引き継いでくれる人を巻き込みながら、一緒に楽しんで取り組んでいます」と話します。



ク 交通

制度名	概要	申請できる人	対象となる取組及び支援内容等	問合せ・申請先										
地域主体の乗合タクシー等導入・運行支援事業	生活交通の不便な地域での移動手段の確保に向け、乗合タクシー等の導入に係る地域からの相談対応や住民アンケートのノウハウ提供等の支援を行う。 また、取組が進み、実験運行を実施した場合には、収支不足額の全額補助や本格運行に向けた国への補助申請	地域住民等	【支援内容】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>取組の流れ</th> <th>市の支援</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> STEP1事前相談 ①生活交通確保の発意・検討 ②住民アンケートの実施 生活交通確保の取組実施の判断 </td> <td> ・相談対応 ・市政出前講座の実施 ・他地域での取組事例等の紹介 ・アンケートのノウハウ(内容・分析等)提供 </td> </tr> <tr> <td> STEP2運行計画作成 ①地元協議会の設立・運営 ②運行計画の作成 </td> <td> ・地元協議会への参加・運営補助 ・運行計画の作成支援 ・関係機関等との調整 </td> </tr> <tr> <td> STEP3実験運行 ①実験運行の準備・周知 ②実験運行の実施 ③実験運行結果の分析 運行計画の改善 本格運行移行の判断 ④地域公共交通会議における審議 ⑤本格運行に向けた国への補助申請 </td> <td> ・地元協議会への参画 ・地域住民への周知支援 ・収支不足額の全額負担 ・運行結果の分析、運行計画の改善支援 ・地域公共交通会議の開催 ・各種手続の対応支援 </td> </tr> <tr> <td> STEP4本格運行 ①本格運行の準備・周知 ②利用促進・資金確保 ③本格運行の実施 本格運行結果の分析 運行計画の改善 ④事業実施に伴う手続 ⑤国への補助申請 ⑥市への補助申請 </td> <td> ・地元協議会への参画 ・運送許可申請支援 ・利用促進策・資金確保策の検討、実施支援 ・運行結果の分析、運行計画の改善支援 ・収支不足額に対する補助 ・(必要に応じて)地域公共交通会議等の開催 ・関係機関等との調整 ・各種手続の対応支援 </td> </tr> </tbody> </table>	取組の流れ	市の支援	STEP1事前相談 ①生活交通確保の発意・検討 ②住民アンケートの実施 生活交通確保の取組実施の判断	・相談対応 ・市政出前講座の実施 ・他地域での取組事例等の紹介 ・アンケートのノウハウ(内容・分析等)提供	STEP2運行計画作成 ①地元協議会の設立・運営 ②運行計画の作成	・地元協議会への参加・運営補助 ・運行計画の作成支援 ・関係機関等との調整	STEP3実験運行 ①実験運行の準備・周知 ②実験運行の実施 ③実験運行結果の分析 運行計画の改善 本格運行移行の判断 ④地域公共交通会議における審議 ⑤本格運行に向けた国への補助申請	・地元協議会への参画 ・地域住民への周知支援 ・収支不足額の全額負担 ・運行結果の分析、運行計画の改善支援 ・地域公共交通会議の開催 ・各種手続の対応支援	STEP4本格運行 ①本格運行の準備・周知 ②利用促進・資金確保 ③本格運行の実施 本格運行結果の分析 運行計画の改善 ④事業実施に伴う手続 ⑤国への補助申請 ⑥市への補助申請	・地元協議会への参画 ・運送許可申請支援 ・利用促進策・資金確保策の検討、実施支援 ・運行結果の分析、運行計画の改善支援 ・収支不足額に対する補助 ・(必要に応じて)地域公共交通会議等の開催 ・関係機関等との調整 ・各種手続の対応支援	道路交通局 都市交通部 交通対策担当 504-2604
			取組の流れ	市の支援										
			STEP1事前相談 ①生活交通確保の発意・検討 ②住民アンケートの実施 生活交通確保の取組実施の判断	・相談対応 ・市政出前講座の実施 ・他地域での取組事例等の紹介 ・アンケートのノウハウ(内容・分析等)提供										
			STEP2運行計画作成 ①地元協議会の設立・運営 ②運行計画の作成	・地元協議会への参加・運営補助 ・運行計画の作成支援 ・関係機関等との調整										
STEP3実験運行 ①実験運行の準備・周知 ②実験運行の実施 ③実験運行結果の分析 運行計画の改善 本格運行移行の判断 ④地域公共交通会議における審議 ⑤本格運行に向けた国への補助申請	・地元協議会への参画 ・地域住民への周知支援 ・収支不足額の全額負担 ・運行結果の分析、運行計画の改善支援 ・地域公共交通会議の開催 ・各種手続の対応支援													
STEP4本格運行 ①本格運行の準備・周知 ②利用促進・資金確保 ③本格運行の実施 本格運行結果の分析 運行計画の改善 ④事業実施に伴う手続 ⑤国への補助申請 ⑥市への補助申請	・地元協議会への参画 ・運送許可申請支援 ・利用促進策・資金確保策の検討、実施支援 ・運行結果の分析、運行計画の改善支援 ・収支不足額に対する補助 ・(必要に応じて)地域公共交通会議等の開催 ・関係機関等との調整 ・各種手続の対応支援													
【申請時期】 まずは都市交通部に相談														

Appendix

乗車券システムは協調から分裂へ

競争から協調へを掲げ動き出した交通事業者と広島市。しかし、PASPYの後継システムでは足並みがそろわなかった。

失われた「これさえあれば大丈夫」

駅前大橋線開業と逆行する乗車券

2023年発行 広島バスセンター
パスピーのあとの割引は!?
 あなたが乗るのは

モビリーグループ
 広島電鉄電車
 広島電鉄バス
 ボン・バス
 芸陽バス
 備北交通

イコカグループ
 広島バス
 広島交通
 JRバス中国
バスの中でイコカがチャージ可能

モビリーグループで支払うと最大10%の割引
 イコカで支払うと最大10%の割引

2025.4.14 広島バスセンター
パスピーのあとの割引は!?
 あなたが乗るのは

モビリーグループ
 広島電鉄電車
 広島電鉄バス
 ボン・バス
 芸陽バス
 備北交通

イコカグループ
 広島バス
 広島交通
 JRバス中国
バスの中でイコカのチャージ可能



Appendix

利用者の「声」は届いているのか

「民間」が「公共」交通を担うことによる欠点が浮き彫りになった。利用者目線とは看板に掲げるのみなのか。

2020/12 広島電鉄、各社に新乗車券システムへの参加呼びかけ
以後、それぞれがPASPY後継システムを選択

2021/5 広島電鉄がPASPYの将来的な廃止を決算記者会見で表明

2022 夏頃までに各社が別々の後継サービスを決定

2022/9 広島市の呼びかけで幹部協議が開かれるも
各社の**経営判断**は覆らなかった

この頃、ICOCAとMOBIRY DAYSを2台設置する案が浮上

2023/10 広島電鉄がMOBIRY DAYSのサービス概要などを発表

「持続可能な地方公共交通を実現できる乗車券」

2024/7 各社が後継サービスの開始時期などを発表

2025/3 PASPYサービス終了

事業者にとっての
最善策

必ずしも
一致しない

利用者にとっての
利便性

出典 | 中国新聞 | モビリーデイズとICOCA 広島県内バスや電車の運賃支払い方法「分裂」の背景は | <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/649004>

中国新聞 | モビリーデイズとICOCA「分裂」の今後は 広島市「一本化呼びかける」/専門家「もう一度議論を」 | <https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/649150>

RCC | 「ICOCA」使える?広電「PASPY」に代わる乗車券システム導入 来年9月「モビリーデイズ」に | <https://www.youtube.com/watch?v=o9lO4oJbERc>